

# 会 議 録

## 1 会議名

令和4年度 第4回中郷区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

### （1）報 告（公開・資料非公開）

- ・ずっと大好き中郷！未来へのバトン事業経過報告

### （2）協議（公開）

- ・新たな自主的審議事項について

### （3）その他（公開）

## 3 開催日時

令和4年7月26日（火）午後6時30分から午後7時55分まで

## 4 開催場所

中郷コミュニティプラザ ホール

## 5 傍聴人の数

1人

## 6 非公開の理由

—

## 7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・委 員：竹内靖彦（会長）、荒川清尊、高橋達也、竹内昭彦、宮川昇藏、村越勝彦、陸川昇一（欠席5人）
- ・事 務 局：中郷区総合事務所 高波所長、内藤次長（総務・地域振興グループ長兼務）、宮尾市民生活・福祉グループ長兼教育・文化グループ長、桐山地域振興班長、津島地域振興班主事、恩

田総務班長、兒玉産業建設業務窓口班長、不破税・市民生活班長、高橋福祉班長、(以下、グループ長はG長と表記)

## 8 発言の内容(要旨)

### 【桐山班長】

- ・会議の開催を宣言。
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。

### 【竹内(靖)会長】

- ・会議録確認を陸川昇一委員と荒川清尊委員に依頼。
- ・報告事項(1) ずっと大好き中郷！未来へのバトン事業経過について報告を求める。

### 【兒玉班長】

泉縄文公園案内看板設置工事及び泉縄文公園施設整備工事の進捗状況を報告。

### 【宮尾G長】

中郷小学校スノーモービル格納庫設置工事の進捗状況を報告。

### 【宮川委員】

泉縄文公園案内看板設置工事について、基礎の深さが足りないのではないか。除雪の際に押されることも考えると基礎が小さすぎる懸念がある。

### 【兒玉班長】

専門家に再度確認する。

### 【竹内(靖)会長】

泉縄文公園案内看板に予算の範囲で“さとまる”を記載できると良い。泉縄文公園施設整備工事の中で東屋の設置場所について、都合につく地域協議会委員が現地の立ち合いをした上で最終決定していただきたい。日程は、早急に地域協議会側で設定する。

### 【兒玉班長】

承知した。

**【陸川（昇）委員】**

中郷小学校スノーモービル格納庫について、収納するスノーモービルの大きさと比べると小屋の大きさがぎりぎり聞いたが大丈夫か。

**【宮尾G長】**

確かに余裕がある大きさではないが、学校長やスキー関係者と協議しながら、使用方法を工夫し対応することとしたい。契約済みの案件でもあり、予算や工期から仕様の変更は考えていない。

**【陸川（昇）委員】**

できる範囲で、使いやすい方法を検討しながら進めてほしい。

**【竹内（靖）会長】**

- ・協議事項（1）新たな自主的審議事項に移る。
- ・前回の地域協議会で議論したアンケート結果から、7月21日に各分科会のリーダーと総合事務所職員に集まっていただき協議した内容を「資料1」にまとめた。資料の内容について、分科会リーダーから補足説明を願いたい。

**【村越委員】**

- ・観光・産業部会では、アンケート結果で一番多くの回答が寄せられた雪については、消雪パイプ等のインフラ整備が主となるので、防衛省の調整交付金を使うなど行政で考えていただくこととした。
- ・観光者を増やす方法に重点を置き協議を進める。現状は、PR不足が感じられるためネット上での情報発信や取り組み方などは、専門家との協議が必要であると考えているが、地域として何をしたいかがまとまっていない。また、区内の事業者など関係者の意向を確認する必要がある。時間をかけて進める予定。

**【竹内（靖）会長】**

- ・雪に対しては、防衛省から交付される調整交付金を有効に使い、行政でインフラ整備を進めていく方向でよいと考える。
- ・観光については、専門家の意見を聞くことは大切である。村越委員の知り合いの専門家がいるとのことなので、ざっくばらんに相談しながら進めてほし

い。また、今年度の地域活動支援事業で中郷区まちづくり振興会が取り組んでいるPR動画の作成も活用できるのではないかと検討いただきたい。

- ・ゴルフ場のある地域として、ゴルフ場を活かしたPRについても検討を続けてほしい。

#### 【高橋（達）委員】

- ・教育・文化部会としては、小中学生の登下校の安全対策については、スクールバスの運行方法を中心に検討したいところだが、いろんなルールとの調整もあり、時間をかけ協議していく。
- ・子どもの居場所づくりや子育て支援の関係では、総合事務所からさっそく動いていただき、公民館事業で子育て世代を集めた懇談会を開催する計画を進めていると聞いた。いろんな声を聞きながら深掘りしていく。
- ・移住にも可能性を感じているため、子育て支援や少子化問題と観光・産業部会で検討している観光分野を絡めながら協議を進めたい。

#### 【竹内（靖）会長】

- ・具体的な意見、声を聞くことが大切である。時間がかかっても、保護者や地域の団体など、具体的な声を聞きながら進めてほしい。

#### 【荒川委員】

- ・地域福祉部会としては、アンケート結果で回答が多かった高齢者の買い物支援・通院、コミュニティバスへの要望を中心に考えていく。また、教育・文化の部門になるが、スクールバス運行に関連する課題も併せて取組めないかを検討する。
- ・現在走っている中郷区内の乗合タクシーの利用者が少ないため、どこに課題があるかを見極める必要がある。理想的な姿を求めながら、様々なことを検証しながら進めていきたい。

#### 【竹内（靖）会長】

- ・資料には、会長、副会長の考えも記載したが、各部会での検討と重なる内容となっている。（以降、資料を基に今後の予定を説明）
- ・分科会は、今回確認したことを意識しながら継続していただきたい。以上の内容から、9月の予算要求に向けて取り組む内容を、事務局案としてまとめてもらったので事務局から説明を願う。

**【桐山班長】**

資料「中郷区コミュニティバスの運行に向けて（事務局案 R4. 7. 26）」を説明

**【竹内（昭）委員】**

- ・事務局案は、いろんな視点からよく考えられている。出来ることから始めるということであり、高齢者の移動手段の確保を図りながら中郷のPRにもつながる取組ができるのではないかと。

**【竹内（靖）会長】**

- ・将来的な展望をする中で、まずは高齢者に乗合タクシーの利用に慣れてほしいとの思い。その他にも新たな運行に伴い雇用も生まれる可能性もある。事務局案から始めて、将来的には小中学生の登下校の安全対策にもつなげていきたい。

**【陸川（昇）委員】**

- ・中郷区内のみを走る運行でよいか心配がある。漠然と運行しても乗る人がいないことが懸念される。目的を持った運行をすれば乗る人がいると思うが、現状、中郷区に観光要素がそこまでないのではないかと。

**【竹内（靖）会長】**

- ・高齢者の意向を確認しながら進める。免許返納を迫られる高齢者は、今後、益々の増加が見込まれる。その時の不安解消に役立てるようなコミュニティバス運行が理想だと思う。現行の乗合タクシーは、そこまでに至っていない。将来に向けてのプロジェクトとして進められれば良い。

**【村越委員】**

- ・事務局案はイメージできた。うまくいけば、理想的だと思う。

**【宮川委員】**

- ・高齢者を家から外に出すことも重要。（中郷商工会会長の立場から）現在の商工会の内部の課題として、いろいろな案に対して乗ってこない現状がある。コミュニティバスを走らせることによって、商工会の意識改革につながり元気が出ることにも期待したい。

**【竹内（靖）会長】**

- ・このコミュニティバスを運行することで、いろんな団体や人を巻き込み、

我々、地域協議会の想いが届くように実施したい。

- ・事務局案を基に、コミュニティバス運行の取組を自主的審議事項として進めることとする。
- ・防衛省の調整交付金の使途については、意見書を出す方向で進めることとし、事務局と会長、副会長で案を作成し次回の地域協議会で提示し協議することとする。
- ・8月、9月は、なかごう夏まつり、体育祭、敬老会など大勢集まるイベントがあるので、地域協議会委員として参加しいろんな声を聞いてほしい。
- ・以上で、本日の会議を終了する。
- ・次回の地域協議会は、8月24・25・26日で、できるだけ欠席者がいない状態で開催できるように事務局で調整して連絡することとする。

## 9 問合わせ先

中郷区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL:0255-74-2411(内線165)

E-mail:nakago-soumu.g@city.joetsu.lg.jp

## 10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。